

【評価対象年度 2020年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	ころころ学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】町田市玉川学園3-35-45(ころころ児童館内) 【開設年月】2003年 【開館日時】月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】延床面積439.2㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造(一部木造)1階 【児童数】65名(2020年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL			

(2)指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 子育て・子育て支援タグポート	法人番号	6012305001229
指定管理者所在地	町田市玉川学園2-3-37		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ等の提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
遊びを通し、新たな自分の姿を発見する	毎年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ソーシャルディスタンスを確保しながら、けん玉等の個々の遊びを充実させ、個々で遊びながらも検定等共通の目標に向かって取り組むことができた。
生きる力を養う	毎年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、繰り返し、感染症対策の重要性を伝え、手洗い、消毒、マスクの着用が徹底され、生き抜く力を身につけることができた。
緊急時連絡メールの活用	毎年度	コロナ禍において、接触を少なくしながらも、在籍家庭全てに同じように情報共有することができた。

3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>A</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、全体及び施設・サービス面において、ともに95%以上の満足度を得られていることから、非常に高いサービスを提供していると判断できる。地域との協力体制や小学校との連携がとれており、また、保護者会の代替措置である個人面談によって、児童の情報の伝達を保護者に伝えるとともに、そこで吸い上げた保護者意見を保育に反映できていることなどが要因としてあげられる。利用者満足度調査回収率は85%を超えており、利用者の意見の聴取に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は8回を超えており、職員の能力向上への取り組みは、要求水準を満たしていた。その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っていた。以上のことから、全体的に良好な運営を行っているとは判断し、総合評価を「A」とした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	1、児童館に併設されている特徴を生かしている。 ・児童館事業への日常的参加 ・児童館来館の友だちと一緒に遊べる ・児童館職員も加わり、より広い視点から保育ができています ・卒会児が引き続き児童館に来ることにより切れ目のない社会教育が出来ている ・コロナ対策のため、児童館を利用し、分散保育ができた 2、父母会との協力体制がしっかり出来上がっている ・コロナ禍の保育方針・行事等、理念を共有している ・保護者会は実施できなかったが、お便りに加え希望者に個人面談を行ったことで、細かく情報を伝えらると共に、保護者の声を吸い上げ保育に活かしている	

## 【評価対象年度 2020年度】

3、地域から立ち上がったNPO法人の特性を活かし、地域との協力体制がしっかり出来上がっている

4、館長が町五小スクールボード理事であることに加え、2015年度よりぶちころ(分室)が町五小に開設されたため、学校との情報交換がスムーズである

5、理事者が常に現場にいるため、緊急の事案、感染症対策等が早くに対応できた

## 【評価対象年度 2020年度】

### 5. サービスの質に関する評価

#### 【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2020年9月 【登録児童数】54名（調査月1日時点） 【配布枚数】54枚 【回答数】46枚 【回収率】85.2% 【調査方法】アンケート用紙を連絡袋に入れ在籍児童全員に配付
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	95%	97.8%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	95	95	95	95	95
実績値	97.8				

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の6項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	95%	98.0%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	95	95	95	95	95
実績値	98.0				

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	5回	8.8回	B	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	5	5	5	5	5
実績値	8.8				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度において、90%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており、満足度は高い水準であったことから、全体的に優れた運営を行っている判断できる。学童保育クラブの管理運営において、総合的に質の高いサービスを提供していると判断でき、次年度以降も同様な結果が望まれる。アンケート回収率は75%を超えており、利用者の意見の聴取に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は5回を超えており、職員の能力向上への取り組みは要求水準以上であった。職員の資質向上については、一定以上取り組んでいると判断できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2020年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	「学童保育クラブ入会のしおり」及び「児童ケース記録」により、保護者・利用者への平等な取扱いを確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	「おたより」及び「ホームページのコピー」により、保護者への情報提供を状況を確認した。	適
施設の運営方針・管理方針	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	「年間計画」及び「実施報告書」により、事業を適切に実施していることを確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	毎月「育成日誌」を、半期に1度「育成記録」を、各期日までに提出していた。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	「施設点検記録」等により、適切に点検を実施していることを確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	「個人情報保護規程」等により、個人情報保護体制が整備されていることを確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	「情報公開規程」により、情報公開体制が整備されていることを確認した。	適
要望対応	苦情対応体制の整備	苦情対応体制の構築	「苦情対応マニュアル」により、第三者委員が設置され、苦情対応の体制が構築されていることを確認した。	適
	苦情窓口の周知	意見・苦情を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	「緊急マニュアル」等により、緊急時・災害時対応手順が整備されていることを確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	「育成日誌」により、火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していたことを確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	「マニュアル」により、病気や事故に対する対応手順が整備されていることを確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	「育成日誌」及び「シフト表」により、適切に職員が配置されていたことを確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	「研修記録」により、年2回以上、職員研修を受講していたことを確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	「事業収支決算書」等により、関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	「事業報告書」等により、管理運営経費の削減に取り組んでいたことを確認した。	適
地	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	「事業報告書」等により、地元団体と連携した行事等を実施していたこと	適

【評価対象年度 2020年度】

域 貢 献			とを確認した。	
	市民雇用及び市内業者からの調達	町田市民の雇用又は市内業者からの調達	「職員調書」等により、市民雇用、市内業者の利用に配慮していたことを確認した。	適

【評価対象年度 2020年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2021年1月26日に特定非営利活動法人子育て・子育て支援タグポートが管理するところ学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2021年1月26日に特定非営利活動法人子育て・子育て支援タグポートが管理するところ学童保育クラブでモニタリングを実施し、賃金台帳、労働条件通知書、就業規則の項目で「不適」であったが、改善策が提出されたため、2020年度は「適」とする。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2020		2021		2022		2023		2024		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	24,787	26,983	21,147		21,509		21,637		21,773	
	特別育成料	0	148	0		0		0		0	
	雑収入	0	0	0		0		0		0	
	寄付等	0	0	0		0		0		0	
	計	24,787	27,131	21,147	0	21,509	0	21,637	0	21,773	0
支出	人件費	20,496	17,593	20,616		20,872		21,000		21,136	
	管理費	0	0	0		0		0		0	
	運営費	411	319	531		637		637		637	
	精算する経費	3,880	4,990	0		0		0		0	
	間接経費	0	0	0		0		0		0	
	計	24,787	22,902	21,147	0	21,509	0	21,637	0	21,773	0
総計(収入-支出)	0	4,229	0	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	11.6				
負債比率	33.1				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率、負債比率は適正な値であった。